

名古屋キリスト教社会館

後援会だより

第 31 号

発行日；2021年11月15日

発行人；岡村 恒義 編集人；谷川 修

〒457-0805 名古屋市南区三吉町 6-17

タテタカコ クリスマスコンサート

あのタテタカコさんの社会館でのライブの復活です。西館建設に向けた募金活動などの一環として、チャリティコンサートを何度も引き受けて下さり、ピアノ弾き語りで素晴らしい演奏と歌声を聞かせて下さったタテさんです。グループホームのスタッフと仲間から、「是非、タテさんの歌を聞かせて」という要望に応え、コロナ禍という環境下ではありますが、入場者数を限定してお届けすることとしました。

と き 2021年12月17日(金) 午後6時開場 6時30分開演

ところ 名古屋キリスト教社会館3階ホール

料 金 ライブ参加者のみ ひとり1,000円 (当日、受付にて徴収)

50名限定のライブ、これを YouTube 配信

ライブ参加者は、申し込み先着順となります。

ライブ参加希望者は、koenkai@shakaikan.com か、電話 090-7301-1960 谷川まで ご連絡を



コロナ苦学生支援の報告とお知らせ

29号に引き続いて30号の裏面でも、「コロナ苦学生を応援しよう」との呼びかけに対して、何となく、12万8千円もの献金が寄せられました。(8/7~9/9)

支援グループを代表する上山様宅にお届けしようと連絡したところ、社会館方面に来る用事があるとのことで立ち寄って下さり、無事に支援金をお渡ししました。

今回、義援金をお寄せ頂きました方は、

島 里美、石橋 満、大塚京子、久野富章
吉田りよ子、真木芳子、伊藤早美子、近藤直子、水野清明、植木信一、恒川 修、島佳苗（敬称 略、順不同）

募金された人数のわりに総額が前回以上となっておりますのは、多額な献金をされた方がおられることによります。献金された方も、日本福祉大学にゆかりのある方ばかりとは限りません。呼びかけに応じて下さった皆様に心よりの御礼を申し上げます。

コロナ感染数はこのところ低く抑えられておりますが、第6波が必ずくるだろうと言われております。苦学生支援の継続が必要な状況は変わらないと思われまますので、引き続きの協力を呼びかけさせていただきます。

同封の振替用紙にて義援金をお寄せ下さい。義援金は、主催者が適切な品物にかえて学生に渡します。ご協力、宜しくお願いします。
(事務局)

2021年11月10日現在

会 員 数 7 8 0 名

当面の目標である1000名を早期に達成できるよう、お知り合い等への呼びかけを今後も宜しくお願い致します。(事務局)

苦学生支援現場を訪問してきました。

名古屋キリスト教社会館の創立記念日にあたる9月26日(日)、支援が行われると聞き、一度現場をみてみたいと訪問してきました。物品引き渡しの場所は、奥田公民館。あいにくの雨が朝から降り続けておりましたが、緊急事態宣言発令下のため、会館は閉鎖、玄関先の軒下と駐車場に簡易テントを張って食料品や日用品などを並べ、学生がその中からこれというものを選んでいました。

天候不順にも関わらず、スタート時から男女学生らが立ち寄り、好きな支援物資を選んで持ち帰っていました。3名ほどの学生に聞き取りしたところ、長野や富山など他県から来て近くの学生アパートに住んでいる、大学の授業は10月までオンラインが続く、ちゃんと毎日3食食べているかと思えば、そうではないと答える学生もいました。案内をどうやって行っているのかと支援者に尋ねたところ、学生アパート約450件に毎回ポスティングで実施しているとのことでした。(タニカワ)



12月30日に餅つきをし、つき餅を販売します。
希望者は、090-7301-1960 谷川まで連絡を。数量限定

— 編 集 後 記 —

コロナ感染も収まりを見せており、毎年恒例の社会館バザーを今年は形をかえて実施することになりました。それでも、コロナ前の生活に戻るのはまだまだ遠い。マスク常時着用、外出はしない、人とはできるだけ会わない。そんな生活スタイルが普通となってしまったら。大切な何かは確実に失われていく怖さを感じずにおれません。(O.T)